

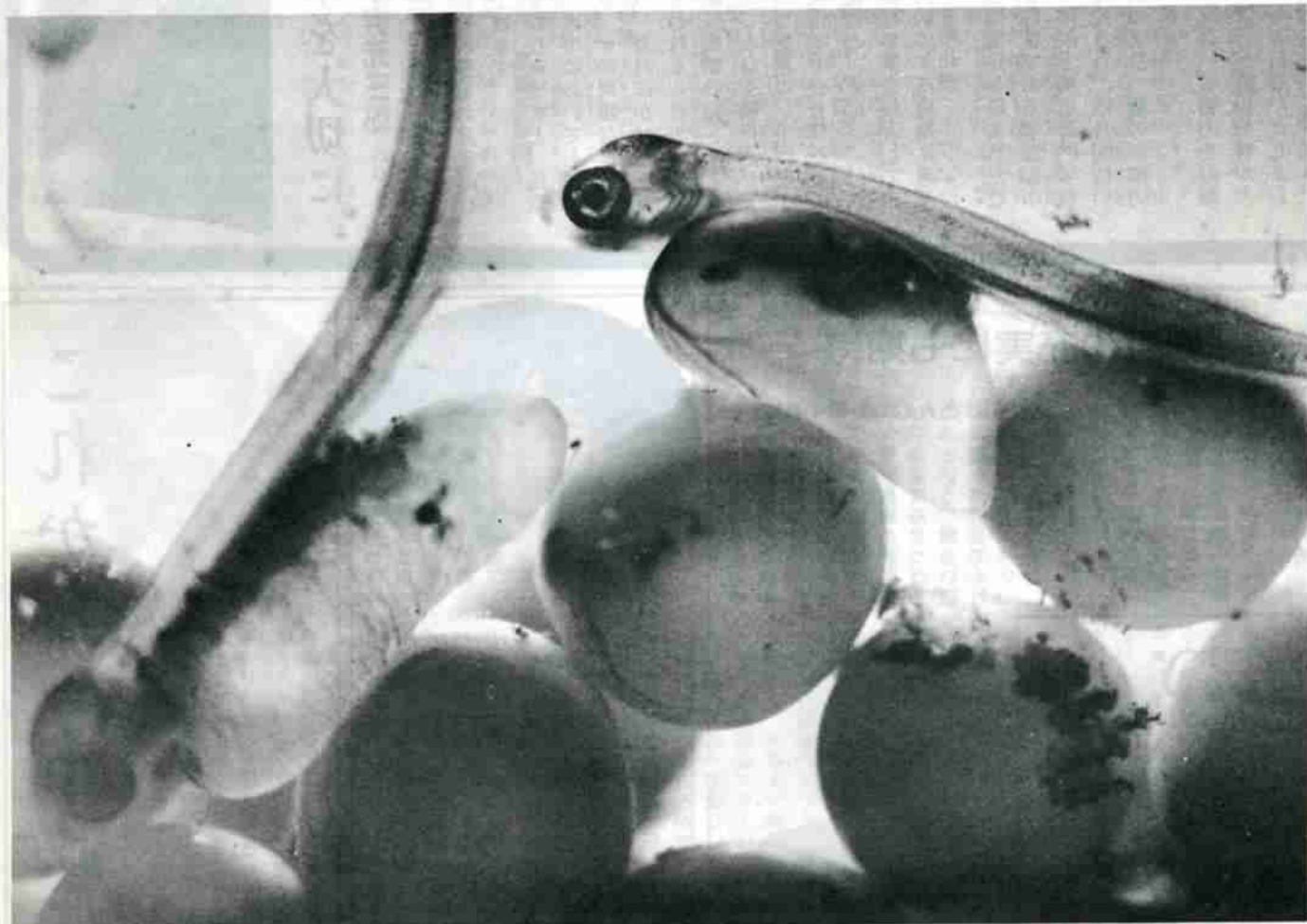
広報

のぼり

主な内容

- これからの市政に期待します… 2・3 P
- 美しい川、それはみんなの願い
…………… 4・5 P
- 夢は総合公園を駆けめぐる…… 6・7 P
- 随想・詩・川柳…………… 8・9 P
- 昭和55年度 水道事業会計決算
状況、郷土史探訪…………… 10 P

●No. 340 ●昭和57年1月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部企画広報課●印刷/中西印刷



春を待つ さけの赤ちゃん。＝登別さけ・ますふ化場＝

川がきれいになったら
キツとセはが
はねながらのぼってくるな。
かにはよこにああやんながらくるな。
いろんなやみなせうぶつよいるな。
そうだったら
つりをしたいな。
川にはいつて
かにとりしてあそびたいな。
そうさせたいな。

わしの小四竿 沼田敏孝

'82
1.1.15 合併号

とうございます



一人ひとりを大切に

登別市長 中浜元三郎

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆様には、すがすがしく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、昭和五十六年を顧りみますと、長期化する構造的不況の下、当市においても誠にきびしい財政状況であり、その再建など数多くの懸案を抱え、更に八、九月にかけて三度にわたる集中豪雨に見まわりましたが、皆様の復興への意欲と市民連帯意識の強さにより、市政の水準を低下させることなく執行させていただきました。明けて五十七年は、文化の中心となる市民センターの早期完成の促進と、更には、公共下水道事業などの大型継続事業を核として市民一人ひとりの生活を大切にす施策に邁進する決意であります。

また、市民総意のもとに策定をいたしました登別市総合基本構想の大きな柱である学園都市の第一歩として、日本工学院北海道専門学校が、雄大な札内高原に建設され、四月開校の運びとなりますが、皆様のより一層のご協力をお願いする次第であります。

本年も、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご家族の皆様がたのげ繁栄とご健勝を心からお祈りいたします。新年のごあいさつといたします。

これからの市政に期待します

新しい年を迎えて、みなさんは夢や希望に胸をふくらませていることでしょうか。今新春号では「これからの市政に期待するもの」と題して、昨年、各方面で活躍された五人の方々に「登場を願ひ、それぞれの立場から話を聞かせていただきました。今年も喜びあふれるすばらしい年にしたいものです。」



前田彰さん(23歳・幌中教諭)

施設の充実にも期待

昨年の夏全道中学野球大会で幌中野球部の監督を務め、初出場ながら見事準優勝に導き、登別健児の意気を感じたという、明るい話題を提供してくれました。

◆ ◆ ◆

昨年の大会は出場なんだから一試合一試合大事に戦って行こうと話していました。

◆ ◆ ◆

残念ながら決勝戦では敗れましたが、選手たちの健闘に改めて拍手をおくってあげたい気持ちです。

◆ ◆ ◆

正直言って、決勝まで勝ち進んできたことは思っています。



札内高原を理想の学園地区に

渡辺直絵さん(33歳・新川町)

一昨年は念願の全国婦人バレー北海道予選会で優勝、全国大会へ出場するなど室蘭地区マさんバレーのトップチーム「登別天使チーム」のメンバーとして活躍され、現在はキャプテンを務めています。

◆ ◆ ◆

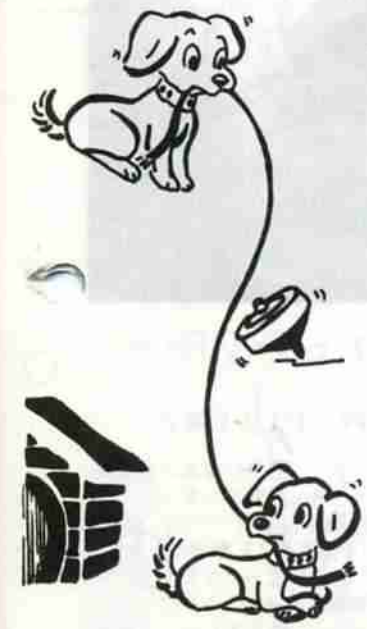
週二回の練習で一汗かいたあとは体育館も貴重な情報交換の場となります。夫のこと、子供のことエトセトラ。最近、特に話題にのぼるのが札内にできた日本工学院と学園都市構想のことです。

四月に開校すると、大勢の学生さんで街全体がにぎわい、おおいに活気づくと思います。

◆ ◆ ◆

お話を聞くと、せっかく学園都市建設という大きな構想があるのですから一校や二校ではなく、芸術大や女子大なども誘致して札内高原が一大学園地区になることを望んでいます。

若いお母さんの中には向学心に燃えている方がたくさんいると思います。各大学で一般教養の講義などは市民にも開放し、受講できるようにしていただけたらうれしいですね。グラウンドや体育館などの運動施設も、授業に差しつかえない程度に開放していただければ最高です。



緑広がる大学のキャンパスで、学生と市民が一途になって勉強し、スポーツを楽しむ。決して夢ではないと思います。

あけましておめで

市勢伸展のため 最大限の努力を

登別市議会議長 宮武清一

輝かしい昭和五十七年の新春を迎えて、ますます今年も皆様のご健康とご繁栄をお祈りいたします。

願ひますと昨年は、二年連続の集中豪雨による災害が発生し、さらには打ち続くインフレと不況により市民生活は極度の圧迫を受け、皆様にとりましては多事多難の年でなかったかと推察いたします。

しかしこの様な情勢の中で、本年は皆様が待望の日本工学院北海道専門学校の開校をはじめ、市民センターの建設など快適な市民生活ができる都市建設を目指して諸政策が着実に進められ、道内の中堅都市として躍進しておりますことはまことに喜ばしい限りであります。

今日における経済変動の激しい時代において財源の制約はまことにきびしいものがありますが、私も議会人としていたしましても今後とも政府、国会に強力な実行運動を展開し、登別市勢伸展のために最大限の努力をすべき年であると考えております。

どうか本年もより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。昭和五十七年が皆様にとりまして幸せな年でありませうお祈り申し上げます。まして新年のごあいさつといたします。



ひぐまから学ぶ

加納菜穂子さん(33歳・登別温泉町)

絵本「ひぐまの冬ごもり」を出版するなど、ナゾだらけのひぐまの生態を探り、人間との共存の道を見つけよう！と、のほりべつクマ牧場のママさん学芸員として活躍しています。

ひぐまといえば、とかくどう猛で恐ろしいといった面ばかりが強調されがちですが、私にとっては気品があって、力強く、こうごうしい存在ですね。

以前から、公害や資源の問題が話題となつていますが、雪の保温性を使った冬眠のための穴や冬眠前にたっぷり日光浴をするなど、大自然に生きるひぐまの知恵から学ぶべき点がたくさ



自然林の無計画な開発は、自然のバランスを崩し、強いてはひぐまの絶滅を招くことになり、外国では、こうした野性動物の種が絶滅し、いまになってその保護に力を入れている国もあります。幸にして、現在もなお道内に生息するひぐまと人間との共存の道を見つけないと思

市民センターの早期完成を

菊地幸一さん(33歳・新川町)

結成以来二年半という市民吹奏楽団ですが、昨年は日担地区大会で金賞を獲得、全道大会では銀賞に輝くなど、「市民に愛される楽団」を合言葉に、着実に歩み続けており、団のまとめ役として精力的な活動を続け、

職場が遠う者同志が集まっ

たの楽団ですから、よくここまでこぎつけたという感じですが、市民センターが完成したら、定期的に演奏会を開いていきたいと思ひますし、有名なアーティストを多く呼ぶことによって、音楽などに対する関心も高まり必然的に文化活動がより一層盛りあがってくるようになると思ひます。



ハエやカのない街を

詫間大さん(31歳・若草町)

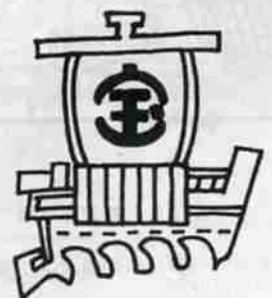
昨年四月、第五回アジアヘアースタイルコンテスト日本代表選手権大会のカット部門に室蘭地区代表として出場、ベストスタイリストとして見事入賞、今後の活躍が期待されています。



また、練習場の確保という面でも業になりますので、これからは市民の期待に答えるよう、技術的なアップを図るとともに、団員の数ももっと増やしていきたいです。

昨年からの待望の下水道事業が、始まりましたが、正直なところ遅すぎるというのが実感です。これから十年計画で第一期の工事を進めるといふことですが、できることであれば一年でも、二年でも工期を短縮して一日も早い完成を望みたいと思ひます。

下水道ができて街からハエやカがいなくなり、川には清流がもどって子供たちが歓声をあげて水とたわむれる……。想像するだけで楽しくなりま



公共下水道事業

私たちは日常生活のなかで、知らず知らずのうちに、また知りながらも大気や水を汚し、緑をむしばんできました。そこで下水道事業とは、どんな事業なのかお伝えします。

都市の
静脈といえる

水の汚れは深刻で小川や排水溝では、においが発生するなど美しい自然がくずれ、環境が悪化しつつあります。

昨年十月の「私の声を市長に送る月間」中の、みなさんからの貴重なご意見のなかにも、たくさんの方々から「川を美しくしてほしい」という声がたくさんあり、これを解決するための下水道は、都市としての静脈ともいえるもので、みなさんが健康で快適な生活を送るためには、欠くことのできない公共施設です。

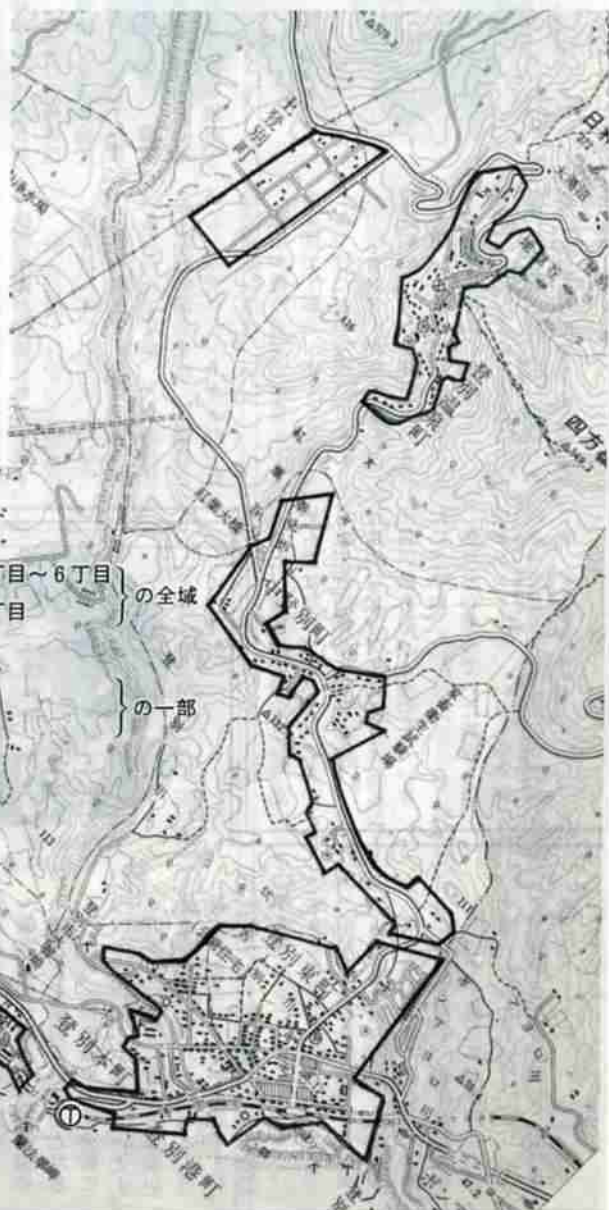
そのような意味から最も急がなければならぬ重要なものです。

ハエやカの
発生を防ぐ

家庭の台所、洗たく、風呂などの汚水は排水溝に流され、これがすべて川や海に出ていっているのが現状の姿ですが、下水道はこれを直接に川や海に流さないため、水が汚れたり、悪臭を出すような



ことが起らなくなり、下水道が普及することによって今の排水溝からのハエやカが発生がなくなり、また魚などの生物が生きかえり青く澄んだ美しい川を取りもどすこともできます。さらに、トイレを水洗化することによって、浄化槽や便槽がいら



第一期計画区域
 中央町1丁目～7丁目、富士町1丁目～6丁目
 新川町1丁目～4丁目、桜木町1丁目 } の全城
 富士町7丁目、緑町1丁目
 若山町1丁目～2丁目 } の一部

- Ⓓ 終末処理場
- Ⓔ 中継ポンプ場

美しい川



若山浄化センター(仮称)完成予想図

なくなり衛生的で快適な生活を送ることが出来ます。

汚水だけを 処理する分流式

それでは市の下水道事業計画の概要にふれてみます。

下水道は家庭や事業所などから出る汚水と、雨水を処理する方法にふたとおりあります。

ひとつは汚水と雨水を同時に集め浄化処理する「合流式」と、もうひとつは汚水だけを浄化処理する「分流式」があります。

これらの方法は地形、都市形態、経済性などを考え決めますが、市では経済性の面からも、分流式を採用しますので、雨水は現在の排水溝から川や海に流されます。

初年度は汚水管 90%を敷設

下水道事業を計画するときは、二十年後の市街地の動向や人口、産業の発展などを考えて計画しています。

ですから昭和七十五年を目標年次として、全体計画面積が一千六百六十ha、処理人口は約八万五千人、終末処理場二カ所、中継ポンプ場四カ所という計画です。

市は地理的に四つの市街地がで

きあがっていますので、どの地区から始めるか問題となるところで

す。そこで、下水道を早急に整備しなければならぬのは、どの地区も同じですが、第一期計画としていちばん人口の密集している区域百六十六haの認可をうけ、整備していくことになりました。

初年度としては事業費一千万円で、四〇〇ミリの汚水管を九十%敷設していきます。

予定処理人口は一万二千人、事業期間は昭和五十六年度から六十五年間の十カ年計画で行ないます。また終末処理場(仮称、若山浄化センター)も若山町一丁目に建設を予定し、この運転開始を昭和六十三年に予定しています。

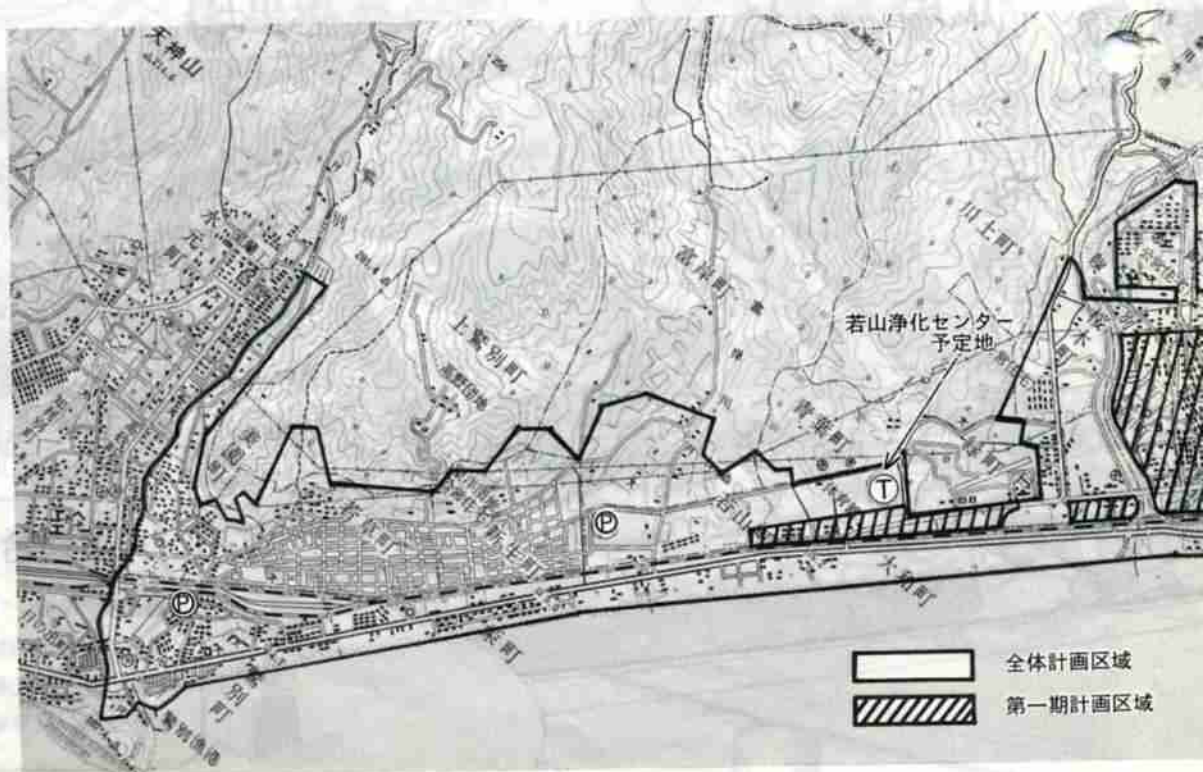
概算事業費 62億円

下水道事業には巨額の資金を必要とします。

第一期計画事業も、実に六十二億円の費用が必要となり、この事業費に、国からの補助金が約三十五%、起債が約五十六%、残り九%は市税と受益者負担金でまかなうことになりました。

そこで下水道が整備される区域のみなさんには、下水道工事費の一部を負担していただくことになり、これを受益者負担金といえます。

全道の下水道事業を実施している他市のほとんどが、この制度を



採用しています。

この負担金の額は、条例で定めることとなっていますが、他市の例で見ますと、現在の負担金額は百坪程度の土地であれば、約十五万円くらいとなっています。

市としても、みなさんの負担を

考え、できるだけ必要最少限にとどめるよう検討していかなければなりません。この事業は長期間しかも、巨額な資金を必要としますので、みなさんの協力がなければ下水道事業を進めていくことはできないのです。

公園をかくらめぐる



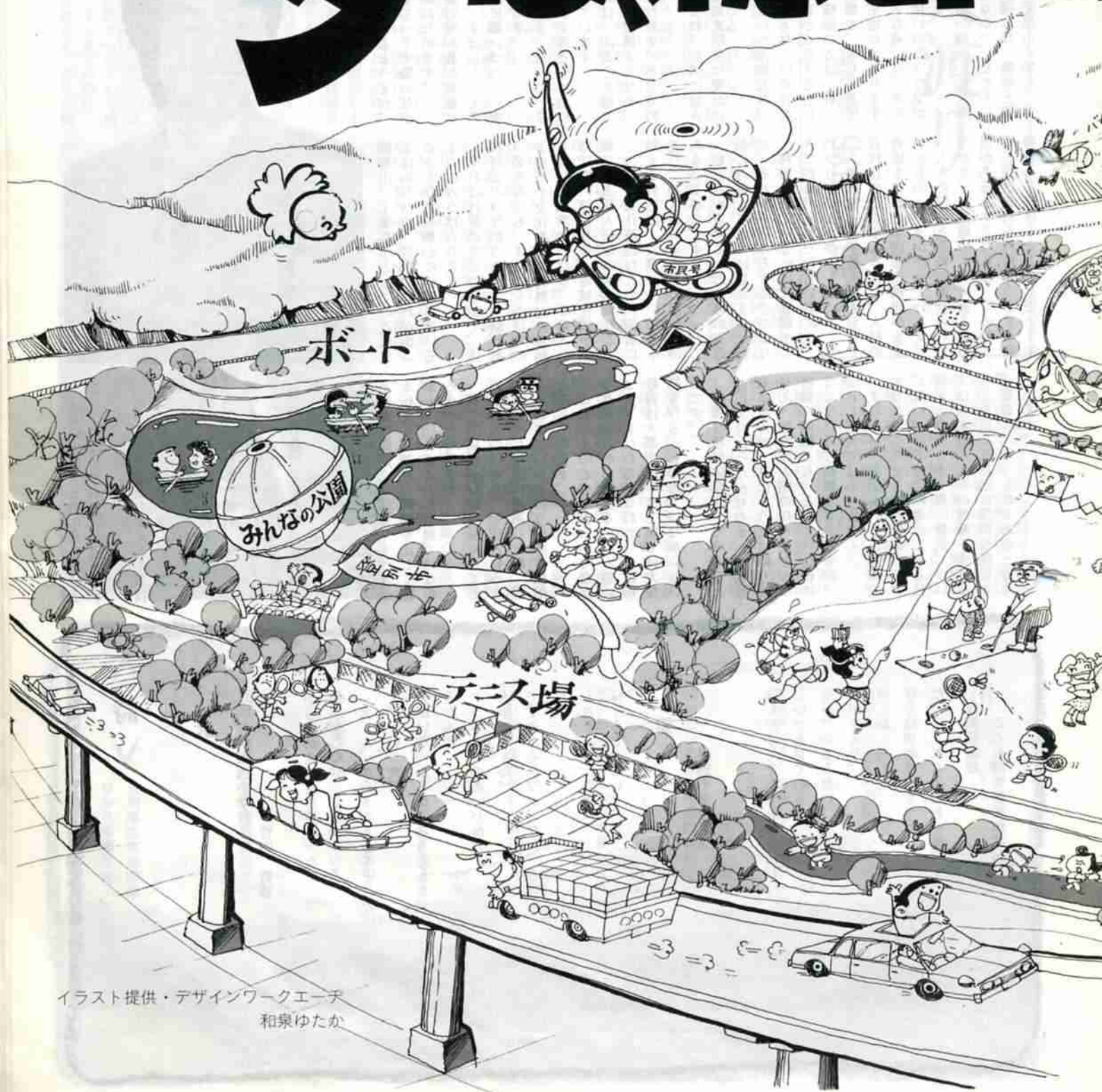
〈川上総合公園〉

- 面積/9.4ヘクタール ●総事業費/10億円
- 建設計画/昭和56年度～60年度 ●施設の
内容/多目的広場、野球場、テニスコート、
ポート池、駐車場などを計画。

魅劇

所望

夢は総合公園



イラスト提供・デザインワークエーチ
和泉ゆたか

随想

工学の工は
天と地に橋を……

日本工学院北海道専門学校長 中山 浩資



昭和五十六年、私の人生を大きく変えるとともに、今までとは異なる道を歩むことになった年です。先が未知なるがゆえに、想像もできないほどの苦労と喜びの待ち受ける険しい山登りを始めたようなものです。

八月末日、函館の町を目のあたりにした青函連絡船のうえで、妻と小学五年生になる一人息子の三人。これから迎えるであろう生活や仕事に対する期待と不安とが、私の心を捕えているように妻や息子の心の中にも住みなれた横浜市から遠く離れ、人生のひとつこまを過すことになる新しい土地、登別

へと思いをはせているようすが、無言のうちに立ちつくす姿のなかに、うかがい知れたのです。

そして北海道の地が我が家族にとって意義深く、すばらしいものとなるよう密かに願いつつ、一步を踏み入れたのです。

登別市は、これまで住んでいなかった横浜市の金沢文庫という地に、地形的によく似ています。

この金沢文庫は、山並みを隔てて鎌倉のとなり位置するため、鎌倉時代に栄えた歴史のある寺町です。

多くの緑に囲まれ、起伏に富み太平洋に面した風光明媚な暖かいところでは、

街のようすはたいへん異なり、こちらは牧場、雑木林、川や丘など自然のなかに家が点在するといふ感じですが、横浜の方は一軒一軒の家が塙や垣根で、きちっと区画整理された住宅地が連なります。

なによりも大きな違いは、街に對する人々の心使いのようすが違います。

年々、人口増加が膨張し巨大都市化しつつあるなかで、私たちの街という意識の薄れゆく横浜と違

い、こちらは観光都市に加え、学

園都市、工業都市としての近代化をはかりつつ、理想的な街ぶるさと作りを熱心に心掛けています。

それは日常の生活のなかで、市民同志のつながりの深さや助けあう姿をみても、また市をあげてのお祭りや文化祭、体育祭など多種多様な市民参加の行事、ご老人たちに厚い福祉政策、地域住民が懇親できる婦人研修の家制度など、さらに文化施設などの利用者に対する対応に、設備の少ない部分を充分、補ない得るほどの温かみのある心を感じます。

私も求めていたものが身近かに存在するように思えます。ただ、それが市民の方々にとどのよう利用されているかは、登別市にきて四カ月しかたない私には、わかりかねますが……?

工業技術、科学技術をとおして近代化の道を歩もうとし、人材の育成をはかる学園都市構想が生まれたものと、うかがっています。

人々の関心と期待の寄せられるなかで、北海道の人々に答え得る道があるとするならば、この地で真の技術教育を行なおうとする姿勢を待ち続けることだと思えます。

工学の工は天と地に橋をかけること、すなわち不可能を可能にすることだといえます。

八十年代の産業を支える工業技術は、巨大化の道を進んでいるようですが、内的必然性を持った一方的傾向ではないと考えます。

巨大化のなかに隠れ、全体を見渡すことができなくなるとし、すす、すでに、それは真の技術でも、真の教育でもあり得ないので

科学技術の原理や理論が、人々に何を語りかけているのかを考える認識の問題と、何をなすべきかを伝える思想性の問題を正しく理解し、伝えることが教育ではなからうかと考えます。

科学的認識が経験を基にして形成されるのに対し、思想というものは色々な場面に遭遇した時、どうすればよいかという決断の根拠となるものです。

これは人の心のおおらかで豊かな北海道だからできるのだと思えます。すなわち、これからの技術教育は大都市で、大工場で巨大な物を作ることのみ、つながらないのです。

複雑な組織体を作ってゆくことは巨大化につながりやすいかも知れませんが、常にそうとは限りません。生物は人間の作ったどんな複雑な機械とも、とうてい比較にならないほど複雑なものです。少しも巨大ではありません。

すなわち、登別という自然環境のなかでこそできる技術教育をおこない、この社会に適合できる技術者の育成こそ、真に登別、ひいては北海道の人々の理解を受けるとともに、この地に学校を開校する意義に、そうものであると考えています。

科学技術の原理や理論が、人々に何を語りかけているのかを考える認識の問題と、何をなすべきかを伝える思想性の問題を正しく理解し、伝えることが教育ではなからうかと考えます。

科学的認識が経験を基にして形成されるのに対し、思想というものは色々な場面に遭遇した時、どうすればよいかという決断の根拠となるものです。

これは人の心のおおらかで豊かな北海道だからできるのだと思えます。すなわち、これからの技術教育は大都市で、大工場で巨大な物を作ることのみ、つながらないのです。

複雑な組織体を作ってゆくことは巨大化につながりやすいかも知れませんが、常にそうとは限りません。生物は人間の作ったどんな複雑な機械とも、とうてい比較にならないほど複雑なものです。少しも巨大ではありません。

すなわち、登別という自然環境のなかでこそできる技術教育をおこない、この社会に適合できる技術者の育成こそ、真に登別、ひいては北海道の人々の理解を受けるとともに、この地に学校を開校する意義に、そうものであると考えています。

詩

犬

幌別西小学校2年 竹内 智徳

からすが犬のえきをとった。大ききくんが

「犬くん、からすがえきをとったよ。」といった。

犬がないからかえろうとした。とたんに、

ドラムカンのあいだから犬がでてきた。

でてきたら「ワン、ワン」とほえた。

えきをとったのはほくらじゃないぞ。

雪

幌別小学校3年 高野 愉生

ほくが手でそおっとつかんだ。じいっと見ていると

ないているみたい。雪がきえた。

ほくがころした。ほくは雪のけいさつに

たいほされるかなあと思った。

公民館講座
こども詩の教室作品から

随想

荒行・火渡り

教育長 安田 麻夫

昭和一桁の死亡率は高い、それは少年時代の食生活に……と。

近い年齢にある者には酷な報道である。又、その年代の特質も取りあげている。①英語がダメ、②踊れない、③食べ残しをしない、④女につきあえない等々、どれをとっても戦中派の自分にびびったりとすると自分も昭和一桁……？

若く見られるということは、女の喜び、と思っていたが、この報道につんのめた自分の中の、私、をかいま見た感じで独り苦笑する。そう言えば軍隊に入営した時、迎えてくれた古兵から「志願兵か」と聞かれた思い出がある。当時の写真を見ると「さもありません」。童顔の稚さが溢れている。口惜しいが若く見られても仕方がない。軍隊では「稚さは短慮」と見られていたもの、若いだけでは能くない。永く生きて働く喜びを持つという事が大事。

私は、五歳で父と死別している。父の歳は三十二歳であったから一層、元気で長く働くということに、関心が強い。親父の分も戴いて、長く生きるぞと心に誓っている。この間、同窓の先輩から「先生はまだまだ若い。先生が健康なのは、自分の努力が三割、あとの七割は親から戴いたものだ」と、親の恩を教えられた。親から与え

られた健康。

そうだ、私は五十五歳までは病気が知らず、風邪ひとつひかない。病気の多い病気の多いのは幼児期の麻疹だけ。これは重症で「リンを叩いた」という臨終間際を行ったり来たりしたらしい。それはい、病抜け、がしたのか、無欠席、無欠勤で通すことができたのである。

この丈夫な身体を親から戴いたのだと先輩から聞かされて、何か胸中をよきものがあり、そして子どもの頃の思い出が頭をかすめた。四月十五日は近所にある出雲大社教会の春祭である。わが村はこの教会の信徒が多い。信徒の手で立てられた大きなのぼりが街角ではたはたと鳴り、小さな出店も十あまり並んで、お祭り気分は宵宮祭あたりから盛りあがる。

このお祭りの目玉は「餅まき」と「火渡りの儀式」である。老神主は特別修業を積んだ人らしく、狐つきを払ったり、火渡りの魔よけをやったりする超能の人であった。神殿でお祀りをしている間に信徒の手で十俵あまりのヌミ俵が切れ、幅一尺、長さ三尺厚さ二十センチに敷きつめられて種火が置かれる。冬上夏下の理だ。やがて真赤に燃えて、赤々と爛

くおき火になる頃、祭祀を終えて神主さんが現われる。祝詞のあと呪文を唱えて、この真赤に燃えたおき火の上を歩いて渡るのである。心頭滅却すれば、おき火もまた涼し。しくじると火傷する危険がついている。

当時、人一倍きかん坊であった私に、お守り役の大ばあさん（安政四年生れ）が「渡れ」と言う。そばに立っただけで顔が火照り何秒かいると、顔をそむけたくなる程の熱さ、この火の上を神主さんの後について渡るのかと思うとぞっとする。恐さが先に走って尻ごみしたくなるもの。

人だかりも大きくなって機熟す。私は、意外に素直に渡る準備に入

った。かたずをのんで見守る観衆魔よけとは言え、危険を伴う荒行にすぎ好んで渡る人は少ない。その少ない人の中に私は入って願を待った。今の親だったら、こんなことは絶対にさせまい。

私は落ちついて一気に渡りきった。この時の充足感、いつまでも燃え続けた。

厄払い、魔よけの荒行を可愛いい跡取り息子にやらせた曾祖母の心中を今になって考える。人のやれない体験を得たことを誇りに思う。ありがたいことだ。この歳になつてはじめて親の恩を知ることができた。

五人の子を育てる母は働かなければ食べさせられない。働きづめの母。子どもを見てやりたくても見てやれない親に代って、曾祖母が……と。



川柳

お母さんばくの退院待っててね
小3 齊藤 剛

寒いけどぼくががんばる季節です
小4 阿部 隆弘

泣いている私を叱る松葉杖
小5 増田さとみ

寒いから母さんの手を握ります
小5 金野 香

こな雪が僕の悲しみ消してくれ
小5 長尾 満

つらい道だけどくじけず歩きます
小6 丹野 喜照

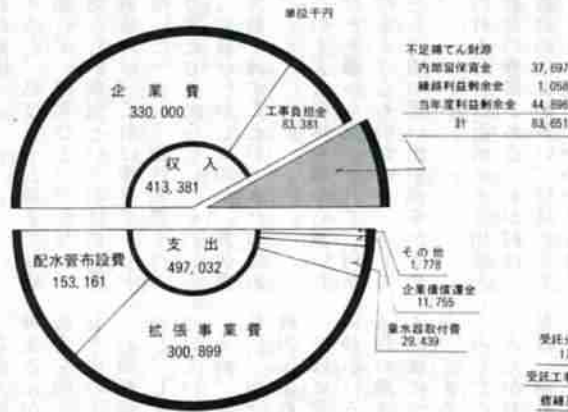
寒いけど心の中は燃えている
中2 田中一美子

母さんの笑顔で胸の雪が溶け
中3 金丸 明美

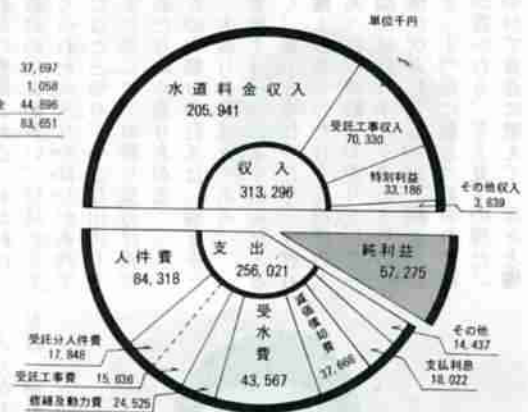
登別厚生年金病院
ひかり学園児童・生徒作品

昭和55年度 水道事業会計決算状況

施設整備的収支決算



営業的収支決算



年度	配水量 (m ³)	給水量 (m ³)	有収率 (%)	給水収益 (円)	供給単価 (円)	給水原価 (円)	給水区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)
54	4,631,383	3,441,029	74.30	201,130,952	58.450	60,948	55,318	51,465	93.03
55	4,842,994	3,511,922	72.52	205,941,021	57.980	63,366	56,330	52,749	93.64
差	211,611	70,893	△ 1.78	4,810,069	△ 0.470	2,418	1,012	1,284	0.61

昭和五十五年の水道事業会計の概況を次のとおりお知らせします。

△給水状況▽
登別市の給水人口は、五万二千七百四十九人となり年間給水量も三百五十一万一千九百二十二立方メートルと前年に比べ、七万八千九百三十三立方メートル増となりました。

△収支状況▽
五十五年度は、水道料金とその他の収入によって五千七百円円の純利益を上げることができましたが、この利益は、配水池の新設、配水管の新設、老朽管の改良などの建設改良事業費の不足分として使いました。

これらの事業の中で、配水池施設などの工事に三億円、配水管の敷設工事には、一億五千五百万円を投じ、給水区域内の水需要確保に努めました。

しかし、市勢の発展とともに人口が増加し給水量も増大の一途をたどっていますので、今後とも市民生活に不可欠な「水」を安定して供給するために最大の努力をしていきます。

※水道に関するお問い合わせは、電話2111内線338へどうぞ。

郷土史探訪

63

登別地方のむかしの正月

昔、お正月という一番良い着物を着て、しめ飾りや門松などで家を飾り、餅つきをして雑煮、七草粥を食べ、子供らはカクタと年玉をもらうことなど、当時の貧しい社会は家族が団らんするという機会が少ない時代ですから大人にとっても最も楽しい家庭の行事でした。

お正月というのは、年神様をお迎える行事ですから家のまわりや家の中の汚れを払いおとし、飾り物や供え物をして迎えます。

早い家では十二月の中過ぎになると、しめ縄をはって飾る「しめ飾り」や、本州のま竹がないので「割った薪で輪をつくり、その中に笹やエツ松の伐った枝をたてて飾る」という方式で門松をたてることも東北地方から登別に移住した家にも見守られていた。

このように供え餅をする風習は年神様がお供えに対する心を受け入れ、強い霊力で家族が健康で幸福であることを見守ってくれるという考えや、神に供え霊力がのりうった餅を食べることにより人間に強い霊力がのりうつるといふ意味から行なわれたものです。

正月用の料理は、にんじん、ごぼう、ふき、たけの子などが入った「煮しめ」や蛙の頭をうすく切って入れた「なます」などのほか黒豆の煮物、数の子、しんの昆布まきなどがあります。家庭によって異なりますが吉例に

なかにみられました。また、お供餅(鏡餅)を作るため、大抵の家にはうすやきねがあり、浜の漁師の人達や農家などでも、本家の家に親せきの者が大勢集まり一俵、二俵と大量についた家もありました。当時は、きねでつく時の「あいどり役」も気合いをいれながら男が務めていたようです。

お供えにする鏡餅は、神前や家の中心となる部屋などに供えられますが、昔は、その他に倉所流し場、当時は戸外にあった便所。漁師の家では船首に、農家では馬小屋というように神が存在すると思われる場所にまつられていました。

このようにして過ぎた正月も、一月七日には正月送り、松送りといって、しめ飾りやかど松などの飾りを除きます。一月十五日は「小正月」、一船に「女正月」といわれ、家事から解放され、御馳走を食べたり、嫁さんは泊りがけで里帰りが出来ました。そして、二十正月は送り正月、終り正月といって、これで長い正月も終る訳です。

昔の正月にくらべて、今日の正月は形式的になりましたが、一年間の節目、折り目であることに変わりなく、夫々の家庭でお正月の本来的意味を考へることも意味のあることだと思えます。



昔、東北から登別に移住した家に飾られた「かど松」

登別市郷土文化研究会
宮武 神一 記

成人式のご案内

市では、新たに成人として巣立つ若人の輝かしい将来を祝い式典を行います。

成人該当者は、登別市に住民登録をしている昭和36年4月2日から昭和37年4月1日までに生まれた方です。

案内状は年賀状として送付します。

保育所入所児童を募集

昭和五十七年度市立保育所の入所児童を募集します。

申請書交付・受付期間・場所
1月7日～1月16日・市社会課及び各支所

入所資格

満三歳以上(富士・鷺別、栄町、幌別東、桜木保育所は生後6ヶ月以上)で、母親が昼間家庭外で仕事をしたり、家庭内で子供と離れて家事以外の仕事をすることを保育できない家庭、母親のいない家庭、母親の出産、病氣

保育所別募集児童数

保育所名	募集児童数
富士	120
鷺別東	120
栄町	120
幌別東	120
桜木	60
登別	90
栄町	60
鷺別	60
温帯	60
浦	30

などで保育のできない家庭の児童が対象となります。

文化短信

短歌文化講演会

原始林登別短歌会では、次により短歌文化講演会を開催します。多数のご来場をお待ちしています。

日時 1月15日(金)午前11時から
会場 ホテル平安 ▶入場料 無料 ▶講師 中山周三(藤女子大学教授、道新歌壇選者、原始林編集責任者)

映写技術講習会

文化協会視聴覚研修会では、一般市民を対象に8ミリ、16ミリの映写技術講習会を開催します。

日時 2月7日(日)午後1時から午後5時まで
場所 中央公民館和室 ▶定員 10名 ▶受講料 無料 ▶申込締切日 2月5日 ▶申込先 市教育委員会社会教育課(☎52111内線349)

第12回 書初展

文化協会書道連盟では、第12回書初展の作品を次のとおり募集します。多数ご応募ください。

応募対象 登別市内に在住している幼児、小、中学生 ▶作品基準・出品数 小がせん紙2分の1縦書(67.5cm×35cm) 語句は自由で1人1点 ▶作品の受付 1月23日(土)午後5時から午後6時まで中央公民館和室で行ないます。(出品者は学校名、学年、姓名、語句を明記した出品名簿を提出し、作品の裏面の左側、中央部に鉛筆で学校名、学年、姓名を記入してください) ▶出品料 一点500円(受付時に納入) ▶展覧会・会場 1月30日から2月1日、中央公民館 ▶賞審査のうえ優秀作品には、書道連盟賞などの賞を贈ります。
※問合せ先 書道連盟本谷内宅(☎5局3018)

すが、届かなかった方は市教育委員会社会教育課青少年婦人係(☎5局2111内線350)へご連絡ください。

※3日は中央公民館前駐車場の利用はできません。
※当日は案内状をご持参ください。

成人式バス運行時刻表

1号車	2号車	3号車
12:00	鷺別公民館 12:10	温帯 12:00
12:05	帝国酸素 12:15	中登別 12:05
12:10	富 12:21	登別浦 12:11
12:15	幌別本町 12:28	富 12:16
12:20	中央公民館	市役所入口 12:25
		中央公民館

建設工事など指命願いを受付

市では、57年度の市の建設工事、設計、測量などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を次により受け付けます。

▽対象 56年度において、指名願い申請書が未提出で、市内に本
▽提出期間 2月1日～27日
▽提出先 市役所契約課
▽提出書類 建設工事等入札参加資格審査申請書(北海道様式)

冬の生活資金に 3万円をお貸しします

冬期間の生活安定に、今年も次のとおり特別生活資金制度が実施されます。

●貸付の条件
。申込みは、2月28日までです。
。無利子で3万円までお貸しします。
。保証人が一人必要です。
。返済は、貸付月の翌月から10カ月間です。

●利用できる方
。お年寄りの世帯/老人福祉年金を受給して70歳以上(障害のある方は65歳)の方で次の世帯
▽单身世帯
▽60歳以上の方と同居している老人世帯
▽18歳未満の児童と同居している

●母子世帯/母子福祉年金、準母子年金、児童扶養手当のいずれかを受給している母子世帯。
●四難病患者のいる世帯/特定疾病患者として、医療受給者証または、患者認定書を受けている次の世帯
▽夫婦のどちらかが患者の世帯
▽20歳未満の児童が患者の世帯、ただし所得が障害福祉年金の支給停止限度額より低い世帯。
●(一)四に準じる世帯、くわしくは申込先にご相談ください。
●(二)生活保護世帯、福祉施設入所者は該当しません。
●申込先
▽社会福祉協議会(老人福祉センター内、☎0860)
▽母子世帯の方は母子会へ(市役所社会課内、☎2111)

年末調整の書類提出はお早目に

56年中の年末調整事務を終えた事業主は、2月1日(月)までに各種法定調書を市役所市民係に提出することになっていますが、調整事務はお済みでしょうか。提出の際は、次の事に留意ください。

●給与支払報告書の作成後、源泉徴収票(本人交付用)は従業員に交付し、残りの給与支払報告書は

落雪防止にご協力を

落雪などによる事故を防ぐため次のことにご協力ください。
▽道路や隣家に接している家では屋根の雪止めの点検、雪おろしを心がけましょう。
▽家の周囲の除雪をし、災害時の避難路を確保するよう、隣り近所お互いに協力しましょう。



総括表をつけて市民税係へ提出してください。
ただし、57年1月1日現在、登別市以外で居住していた方の給与支払報告書は、受給者の住居地の市町村宛に直接送付してください。
●給与支払報告書や法定調書を提出後に記載誤りがあったときは、欄外に訂正分と朱書きをして再提出してください。
●提出期限は2月1日(月)です。締め切りまじかにはこみあいますので、お早めに提出ください。

保健ガイド



予防接種

◎対象者
 ・三種混合 △第一期：生後24カ月から48カ月未満の幼児 △第二期：第一期終了後12カ月から18カ月の幼児。
 ・接種の方法：▽第一期：3週間から8週間の間隔で3回接種。▽第二期：1回接種。
 ・ツベルクリン反応：生後3カ月から48カ月未満の人で1回接種。BCG：ツベルクリン接種2日後、反応が陰性の人。
 ・麻疹（はしか）：生後12カ月から42カ月未満の幼児で1回接種。満1歳になりしだい、各家庭へ無料受診券を送付していますが、届かなかった方は、市保健衛生課保健衛生係（電話5局2111内線249）へご連絡

予防接種日程表

会場	受付時間	予 防 接 種 名			
		三種混合	ツベルクリン反応	BCG	
ひまわり園	13:00~13:30	1月22日	1月27日	1月29日	
賢別公民館	13:45~14:15	1月22日	1月27日	1月29日	
登別公民館 (登別支所隣り)	13:00~13:30	2月4日	2月16日	2月18日	
国立登別病院	14:00~14:30	2月4日	2月16日	2月18日	
労働福祉 センター (市民プール隣り)	13:00~13:30	1月7日	1月19日	1月21日	
		1月28日	1月19日	1月21日	
		2月5日	2月17日	2月19日	

市民生活
ふれあう心の合言葉
 一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

◎接種上の注意
 ・子供の健康状態の良好な時に接種すること。
 ・接種前日は入浴し、当日は清潔な肌着を着用すること。
 ・体温は必ず家で計って、母子健康手帳を持参すること。
 ・接種前後に激しい運動をさせないこと。
 ・接種当日は入浴させないこと。
 ・できるだけ母親が付き添うこと。
 ・次に該当する場合は予防接種を受けることができません。
 ・発熱している人、または、著しい栄養障害者。
 ・心臓、じん臓、肝臓の病気にかかっている人。
 ・アレルギー体質、または、副反応を起こしたことがある人。
 ・最近1年くらいに、けいれんやひきつけを起したことがある人。

無料法律相談

日常生活の中で、交通事故、土地家屋、金銭貸借、損害賠償、離婚、公害などあなたの身の回りに起きた法律問題でお困りの方は、この法律相談をご利用ください。

▽日時 2月6日(土) 午前9時から
 △場所 中央公民館 和室
 △担当弁護士 村上 弘氏 芝垣 美男氏

※相談を希望される方は、あらかじめ企画広報課に申込みください。☎2111内線222

家庭児童・母子相談



定例相談日のほかにも、常時相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。
 ◎相談日・場所

健康相談

◎実施月日
 2月2日：婦人センター
 2月3日：賢別公民館
 2月4日：中央公民館
 ◎受付時間
 その他、予防接種を受けることが不適当な状態にある人。

母親学級

内容	担当	時間	会場	月日	コース
妊婦中の経過と分娩の準備に関する知識	産婦人科医 歯科医	13時00分	中央公民館	2月8日	1
妊婦中の衛生の知識	産婦人科医	13時00分	中央公民館	2月15日	2
小児科医・助産師	小児科医・助産師	13時00分	中央公民館	2月18日	3
赤ちゃんと産後生活	助産師	13時00分	中央公民館	2月22日	4
分娩の準備	保健師	13時00分	中央公民館	2月24日	5

母親となられる方のために、妊娠にともなう不安の解消、出産に向けての心身、物品の準備に役立てていただくため、次により母親学級を開催します。

不用品ダイヤル市

5局2111 内線257

おわけします(売り)
 コーナーいす、2段ベッド、ダブルベッド、歩行者、ベビーバス、子供用自転車(3年生用)、女子自転車(5年生以下)、スパイクタイヤ(ホンダアコード用)、スパイクタイヤ(5.6-13ホイール付)幼児用女子自転車、軽自動車ホイール(スズキハッチ)、足ぶみオルガン、電気洗たく機、テレビ(18インチ)、冷蔵庫(2ドア)、ポット式石油ストーブ、冷動機、直線めいミシン、シルバーあみ機、フィギュアスケート(23cm)、スピードスケート(24cm)、学習器(レコード機器付)、小型タイプライター(和文)、英会話セット
 ゆずってください(買い)
 ベビーベッド、子供用自転車(18)、婦人用自転車、男子用自転車、ピアノ、琴、エレクトーン、電気オープン、温風式石油ストーブスキーとくつ(スキー120cm、くつ19cm)、物置、ホームタンク(90ℓ入)、学習百科事典(小学生低学年用)

午前：成人病、妊婦、家族計画
 午後：7カ月児相談(昭和56年7月出生児)
 婦人センターでの健康相談は午後

▽申し込み先 保健衛生課(電話5局2111内線250)
 1月7日から

午前：9時~9時20分
 午後：12時40分~1時
 ◎対象者 満35歳以上の婦人
 ◎検診料 1,800円(精密検査が必要な方は1,500円、3,000円程度かかります)
 ◎定員 午前60名・午後40名
 ◎持参するもの 保険証、検診料風呂敷
 1月7日から

乳がんは年々増加の傾向にあります。特になりにやすい年齢は40歳代から60歳代です。
 市では次により乳がん検診を実施します。異状のない人でも年1回の定期検診を受けましょう。
 ◎実施月日 2月10日
 ◎会場 労働福祉センター
 ◎当日の受付時間
 午前：9時~9時20分
 午後：12時40分~1時

乳がんは年々増加の傾向にあります。特になりにやすい年齢は40歳代から60歳代です。
 市では次により乳がん検診を実施します。異状のない人でも年1回の定期検診を受けましょう。
 ◎実施月日 2月10日
 ◎会場 労働福祉センター
 ◎当日の受付時間
 午前：9時~9時20分
 午後：12時40分~1時

乳がんは年々増加の傾向にあります。特になりにやすい年齢は40歳代から60歳代です。
 市では次により乳がん検診を実施します。異状のない人でも年1回の定期検診を受けましょう。
 ◎実施月日 2月10日
 ◎会場 労働福祉センター
 ◎当日の受付時間
 午前：9時~9時20分
 午後：12時40分~1時

乳がんは年々増加の傾向にあります。特になりにやすい年齢は40歳代から60歳代です。
 市では次により乳がん検診を実施します。異状のない人でも年1回の定期検診を受けましょう。
 ◎実施月日 2月10日
 ◎会場 労働福祉センター
 ◎当日の受付時間
 午前：9時~9時20分
 午後：12時40分~1時